

	第3期中期計画（2018-2022年度）		2020年度 事業計画		
最 重 点 項 目			「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」（コンセプト）の展開と発信		
			新教育課程実施の準備		
			資金の収支の改善に向けた施策の立案と実行③		
			東京基督教大学創立30周年記念事業の展開		
1 教 育 ・ 学 生 支 援	1	部署横断的な組織新設	EM（エンロールメントマネジメント）体制を構築する（A）		関連する中 期計画No.
	2	包括的な学生生活のバランスの実現	1	学務会議を学生・教育支援推進組織として整備する	1
	3	有機的な学生ポートフォリオ構築	2	教授会における学生・教育支援審議を充実する	1
	4	寮教育の本質検討と実践	3	初年次・二年次、ミニストリー専攻長との教職協働体制を整備する	1
	5	通学生への学生支援	4	学生支援に関わる関係組織の統廃合を検討する	1
	6	多様な学生ニーズに応える学修支援	全学生に対する統合的学修支援を実施する（A）		
	7	学生生活（経済・精神的）支援体制充実	5	学科再編を見据えた信仰共同体、学びの共同体、生活共同体の形成を試みる	7
	8	学部の学科再編（カリキュラム全体スリム化）	6	入学前に読解力・学習・生活習慣を把握する	6
	9	修士課程のコース見直し（カリキュラム全体スリム化）	7	初年次教育と接続した入学前教育を検討する	11
	10	日英提供プログラムの連動性強化	8	行事のスリム化を進める	2
	11	学部初年次教育の充実	9	学年暦を検討する組織を整備する	1・2
	12	教会教職者カリキュラムの柔軟化検討	10	教会実習のフォローアップ体制を検討する	7
	13	福祉専攻における全世代対応ケアワーカー・リーダー養成	11	学生の霊的形成を目指して新しい小グループチャペルを始める	7
	14	国キ専攻生進路の多様化に対応したカリキュラム検討	12	研修を実施し学習支援体制を整備・充実する	6
	15	スタディーツアー充実	13	大学院女子学生の懇談会を実施する	7
	16	ダブルディグリー・短期留学制度充実	14	通学生支援を充実する	5
	17	ACTS-ESカリキュラムの日本語教育充実	15	学科再編を見据えて寮教育を見直す	4
	18	教会音楽専攻科のカリキュラム見直し	16	障がい学生支援体制を拡充する	6・7
	19	学修成果測定・評価の検討と見直し	17	サードカルチャーの背景をもつ学生の支援を拡充する	6・7
	20	教会教職養成課程3年制設置の検討	18	ACTS-ESライティングセンターの活動を推進する	6
	21	学部の学科再編の検討	19	ACTS-ES教務体制を整備・充実する	1
	22	教員免許課程設置の検討	20	多様な国籍をもつ学生・教職員の理解を促進する	6・7
	23	研究科の通信教育課程の継続調査	21	留学生に対する教育・学生支援の充実	6・7
	24	保育士資格取得特別応援コース開始	22	学生支援に関わるFD・SDを実施する	6・7
	25	福祉専攻科の設置検討	カリキュラム改革を実施する（B）		
			23	学科再編に向けた各専攻のカリキュラムを準備する	8・11・14・21

東京基督教大学 2020年度事業計画と第3期中期計画

2020年3月24日
理事会・評議員会承認

		24	学科再編に向けた大学院のカリキュラムを準備する	9・12・20
		25	学科再編に向けた音楽専攻科のカリキュラムを準備する	18
		26	ダブルディグリー・短期留学制度を充実する	16
		27	ACTS-ESカリキュラムの日本語教育を充実する	17
			学修成果測定・評価方法を検討・実施する (B)	
		28	学生情報システムを構築する	3・19
		29	アクティブラーニングの取り組みを推進し環境を整備する	6
		30	授業改善に資する授業評価アンケートを実施する	19
			定員増加のための施策を検討・実施する (C)	
		31	教員免許課程・資格取得コースの実施時期を検討する	22・24
		32	通信教育を試験的に実施する	23
2 学生募集	1	訪問目的の明確化	1 説教や講演と共に教会の意見を聞く教会訪問を行う	
	2	国外：教会・宣教団体等とのネットワーク拡大	2 国外：学科再編・30周年に関する懇談会等を行う	
	3	国内：ネットワーク拡大	3 国内：学科再編・30周年に関する懇談会等を行う	
	4	中高生・青年宣教団体との包括協定先増加	4 新規包括協定締結先をリストし関係性を構築する	
	5	オープンキャンパス参加者数増加	5 新学科をアピールするオープンキャンパスを実施する	
	6	資料請求者数増加	6 学科再編・30周年を機にウェブサイトのデザインを変更する	
	7	入学・収容定員充足	7 入学者定員を充たし、収容定員充足を目指す	
	8	アドミッションポリシーに基づく入試改革	8 学部入試における新選抜の実施と検証および大学院、専攻科入試の適切性検証	
	9	全教職員による教会訪問	9 教員・職員それぞれに相応しい訪問を実行する	
	10	キリスト教学校との共同取り組み推進	10 キリスト教学校との共同取り組みを推進強化する	
	11	受験生目線のコミュニケーション	11 SNS等を通じて受験生の益となるコミュニケーションを行う	
	12	多様（留学生・社会人等）な志願者を想定した募集活動	12 ウェブサイトを継続的に改善強化する	
	13	人の成長に焦点を当てた広報活動	13 動画・紙媒体で学生の成長する姿を訴求する	
	14	保護者の説得、阻害要因（進路・経済）を解決する広報活動	14 各調査結果を基に広報活動を行う	
3 財務・キャン	1	教育・学生支援充実のための改革実施	資金の収支の改善に向けた施策の立案と実行③ 1 均衡到達年度2023年度、2020年度収支マックス額90百万円未滿。教育活動資金収支差額をマックス67百万円未滿	
	2	学納金収入増加	2 学納金収入2億1,500万円（現員数200名分に相当）を目指す	
	3	定員増の認可申請	3 定員増の認可申請について、中期計画の中間年に当たり、見通しを検討する	
	4	寄付金収入増	4 寄付金収入8,500万円を目指す	

東京基督教大学 2020年度事業計画と第3期中期計画

2020年3月24日
理事会・評議員会承認

バス 整備	5	適切な人件費・人件費依存率維持	5	更新した財務計画により目標達成に向け、人件費依存率187.4%を目指す
	6	人件費の見直し検討	6	保有資金額16億円に達していない場合、賞与の減額を検討する
	7	奨学費支出の再検討	7	奨学金(持出し)の3,000万円以下の支出を実行する
	8	資金の収支均衡実現		
	9	付随事業・収益事業の検討	8	付随事業及び将来の収益事業の検討を行う
	10	施設・設備の計画的な補修	9	30周年記念事業として施設設備計画を実施する
	11	学修のためのウェブ・システム拡充		(1. 教育・学生支援28) 参照
4 ガ バ ナ ン ス と マ ネ ジ メ ン ト	1	あるべき教員・職員・理事像検討し明文化	1	コンセプト・人間像の浸透状況を踏まえて、教職員像・理事像の明文化検討を継続する
	2	教職協働による学生支援体制構築	2	適切な学生支援を実施するとともに、より相応しい支援体制の検討を継続する
	3	PDCAサイクルの有効化	3	PDCAサイクルの有効化に努めるとともに、より相応しいあり方の検討を継続する
	4	内部質保証システム確立	4	内部質保証小委員会の活動を推進する
	5	意思決定機関のシンプル・迅速化	5	大学運営会議及び常任理事会の機能向上の取り組みを継続する。学務会議及び教授会の役割分担や審議事項について検討を継続する
	6	情報共有体制整備	6	会議決定事項の情報共有を積極的に行うとともに、情報共有ルールを明確化し、共有しやすいシステム整備を推進する
	7	「コンセプト」実質化	7	ロゴマーク等を有効に活用する。コンセプトのスピリットについて、年間祈祷課題や30周年記念事業等を通じて不断に確認する
	8	中期計画、神の国に仕えるプロジェクト、30周年行事推進体制整備	8	大学運営会議が主体となり推進する。30周年記念行事を実施する
	9	理事長・学長・学部長等役職者の職務権限明確化	9	職務権限の明文化の検討を継続する
	10	キリスト教全人格教育に全学を挙げて関わるプログラム実施	10	[1 教育・学生支援 (A) (B) の項目を参照して検討]
	11	会議の見直し	11	会議ルールを明確化する。効率的な会議についての研修を行う
	12	教授会の役割の見直し	12	教授会審議内容を見直す
	13	FD・SDの充実	13	実施計画に基づきFD・SDを実施する
	14	理事会機能向上	14	常任理事会・理事会として機能向上の取り組みを継続する
	15	監査制度の充実	15	監事との懇談会を実施する。私立学校法改正による監事の役割の変更を踏まえ、監事補佐体制を検討する
	16	有効な情報共有	16	情報共有ルールの明確化を含めた総合的な検討を継続する
	17	大学認証評価準備	17	内部質保証推進組織としての大学運営会議(含:内部質保証小委員会)と自己点検・自己評価委員会との位置付けを明確にしつつ内部質保証を進める

5 研究	1 外部資金の継続的な導入	1 ①専任教員の2割の外部研究費への申請を行う ②研究支援センターによる外部研究費関連の情報共有、申請の促進
	2 学内研究体制強化	2 ①研究支援センターを中心とした研究支援体制の充実を図る ②研究支援センター専用ウェブサイトの開設と情報共有の促進
	3 教会に寄与する研究推進と成果の公開	3 ①キリスト教葬制文化研究会を継続し、キリスト教葬儀に関わる人材育成プログラムのテキストを刊行する（国際宣教センター） ②神の国研究プロジェクトの継続 N・T・ライトと「キリスト教の公共性」研究会（共立基督教研究所）、賀川豊彦シンポジウム（公共福祉研究センター）、他
	4 国内外の神学教育・宣教教育機関との連携と研究交流促進	4 日本宣教学会、アジア宣教学会、ATA加盟校の宣教研究所、その他との情報交換・交流を促進する
	5 協同研究、シンポジウム・学会の実施・受入れ	5 研究支援センターを中心に共同研究等の促進を図る
	6 建学の精神に関わる出版検討	6 30周年記念誌を発行する
	7 信徒神学の研究	7 「信徒の神学」研究会を開催する
6 教会と地域と共に	1 「教会や地域との関わりシステム」構築	1 学内推進体制を見直す
	2-1 研究成果の共有・還元	（V研究）参照
	2-2 様々な教育機関と交流・連携	（V研究）参照
	3-1 地域社会の福祉活動向上	2 実務者研修を実施する
	3-2 文化芸術振興	3 従来のコンサートに加え、世界的なオルガニストのコンサートも開催し地域の文化振興をはかる。コンサートの広報やプログラムで30周年であることをアピールしていく
	3-3 国際交流寄与	4 市民団体等と協力し地域の国際交流を推進する
	4-1 TCU支援会活動充実	5 30周年と連動した活動を目指す
	4-2 支援教会・支援団体拡大	6 支援団体との連携強化のため、交流を図る
	5 教会との連携	7 エクステンションを通して、教会の必要に応える。新規エクステンションを開拓する
	6 ケアチャーチ関東圏外へ拡大、教会の福祉への取組支援	8 ケアチャーチを実施し、教会の福祉への関心を広める
	7 各分野での継続教育提供	9 国際キリスト教学分野において、継続教育を実施する
	8 クロスメディアによる継続教育提供	（I教育・学生支援）参照
	9 履修証明プログラムの充実・発展	10 2021年度スタートへ向けて、学科再編の流れの中で提供内容を見直す。また、広報のやり方も改善する
	10 施設の有効利用、関係団体等への貸し出し	11 規程を基に、特に支援団体への貸し出しを推進する
	11 他のキリスト教教育機関との連携し、キリスト教教育の進展に協力	（V研究）参照（教員免許課程設置との関係）
	12 学生・教職員：地域社会との積極的な交流・協力・取り組み評価	
	13 学生・教職員：学外ボランティア活動推進	12 学内ボランティア推進を継続する
		13 SDGsの取り組みを検討する

7 3 0 周 年 記 念 事 業	東京基督教大学創立30周年記念事業		
	Ⅰ. 理念・方向性		1 年間を通じてのStand in the Gapセミナーの開催、グッズ制作、広報活動を通してブランディングを行い、学科再編の理念やTCUのビジョンが学内外に浸透することを図る
	①テーマ：Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を		2 11/3創立記念式典、通年のStand in the Gapセミナー、地区支援会での活動等を通じて多くのステークホルダーとの関わりを持つ
	②期間：2019年シオン祭～2020年創立記念日(募金の期間とは異なる)		
	Ⅱ. 施設関係		3 夏期休暇中に食堂・寮リニューアル工事を実施する
	食堂改修、寮改修等		4 11/3創立記念式典を実施。2021年3月記念誌発行
	Ⅲ. イベント		5 2019年度に引き継ぎ、創立30周年記念「明日の世界宣教者育成募金」を募る 目標額：1億6,500万円 募集期間：2019年4月～2021年3月（2年間） 2020年度目標額：8,500万円
	Ⅳ. 発行物関係		6 ステークホルダーごとの懇談会を実施し、周年事業期間終了後に発展する関係を構築する
	宣言、30周年記念誌等		7 11/3記念式典で宣言文を発表する
	Ⅴ. 30周年記念募金		
	① 期間：2019年4月～2021年3月まで		
	②募金目標(2年間)： 1億6500万円		
	Ⅵ. ブランディング		